

2025/6/7(土)

21:00 ~

Group Join

VRC株式投資座談会

Stock Investment Symposium



お願い事項

- ・本イベントは株式投資の勉強、情報交換会がメインです。
- ・個別株等の情報が出てきますが、投資を推奨しているものではありません。投資の判断は自己責任でお願いします。
- ・投資商品等の宣伝、営業、勧誘などの行為は
ご遠慮ください。
- ・投資は自己責任でお願いします。投資にかかわるいかなる損害
において主催者、参加者は責任をとりません。
- ・入退場自由。

全体市況について

📈 市場の不安度(VIX指数) から読み取る

日本株投資タイミング

📌 市場の不安度(VIX指数)・投資家心理(IV)の変化



5月初旬
30
高い不安状態

現在
23
安定化中



買い時のサイン VIX低下・IV低下時

✓ VIX数値 30→23に低下
投資家の不安が和らぐ

✓ IV(インプライド・ボラティリティ) 低下
株価上昇期待が高まる



様子見のサイン VIX高値・IV高値時

✓ VIX数値が30以上
投資家がとても不安

✓ IV急上昇
慎重な投資が必要

📌 投資のポイント



VIX・IV低下で市場不安和らぎ、日本株投資の好機到来!

SEP 30th

84% tariffs.



政策朝令暮改

トランプ関税政策 朝令暮改の代償

市場大混乱

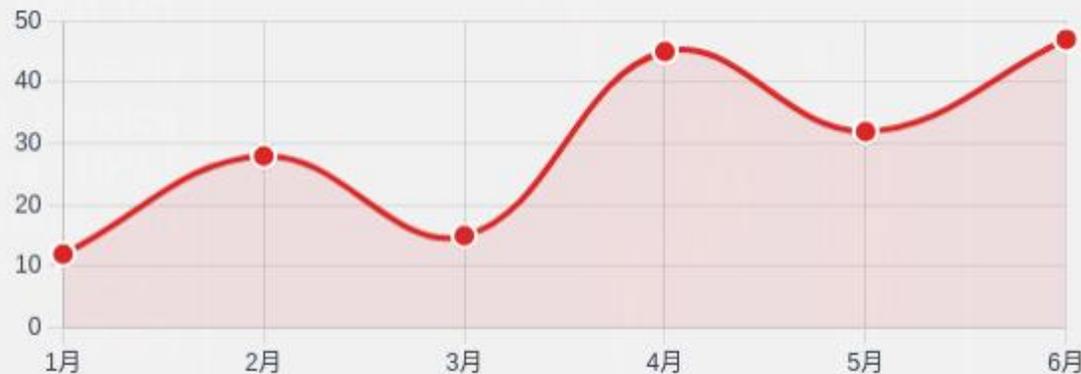
政策変更のたびに株価が激しく変動

↓ S&P500: 一日で3.2%下落

世界同時株安を誘発

製造業セクターが最大の打撃

市場ボラティリティ指数



政策変更タイムライン

- 中国関税25% → 撤回 → 再導入
- メキシコ関税発表 → 24時間で撤回
- カナダ関税検討 → 一時保留

-8.7%

週間変動率

47.3

VIX指数

\$2.1T

時価総額消失

LIVE ● 中国向け関税25%→撤回→再導入 | ● メキシコ関税発表後24時間で撤回 | ● 投資家の信頼失墜が続く

リアルタイム更新

in the Markets

APR 2nd
Trump announces
reciprocal tariffs
on countries
around the world.
5,671

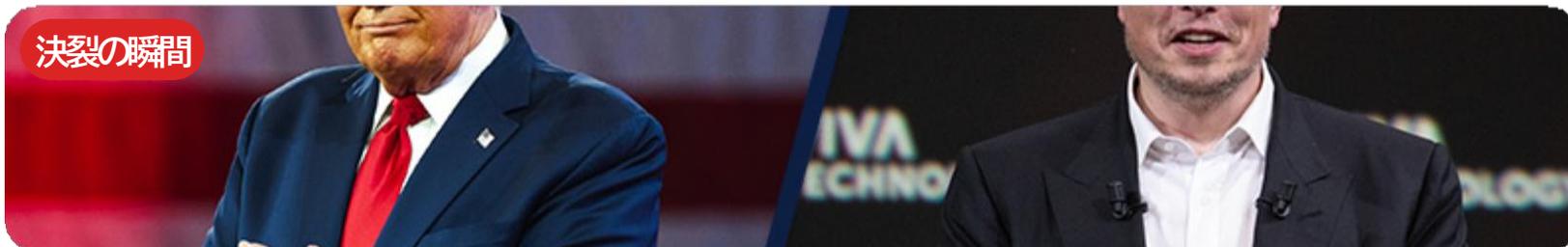


トランプ・マスク決裂の市場インパクト



蜜月から 対立へ：テスラ株14%急落の衝撃

決裂の瞬間



個人攻撃の応酬



🕒 対立の経緯

- X買収時の対立
- 政府契約カット脅威
- 公開批判応酬

🧠 投資家心理

- 政治リスク警戒
- 政府依存度懸念
- **不確実性拡大**

⚠️ リスク要因

- 規制強化可能性
- 補助金削減リスク
- 長期対立影響

📉 テスラ株の急落

-14%

1日で急落

-1,500億\$

時価総額減少

市場に衝撃

¥ 日本株への影響

▼ EV関連: パナソニック、日産

▼ 半導体: ソニー、村田製作所

▲ 代替: トヨタ、ホンダ

関税政策と日本株投資戦略

どの銘柄を買うべきか? 避けるべきか?

¥

↑

内需関連株 買い候補

JR東日本

国内需要安定

イオン

小売業恩恵

↓

輸出関連株 要注意

トヨタ自動車

米国輸出リスク

ソニー

関税影響

👁

製造業大手 様子見

三菱重工

防衛需要堅調

キーエンス

展開に注意

投資戦略のポイント

内需株を買い、輸出株は慎重に



米国雇用統計の結果 と今後の投資方針

2025年5月 米国雇用統計 2025年6月6日発表



非農業部門雇用者数

+13.9万人

予想: +12.6万人

前月: +14.7万人



失業率

4.2%

予想: 4.2%

前月: 4.2%



平均時給上昇率

+3.9%

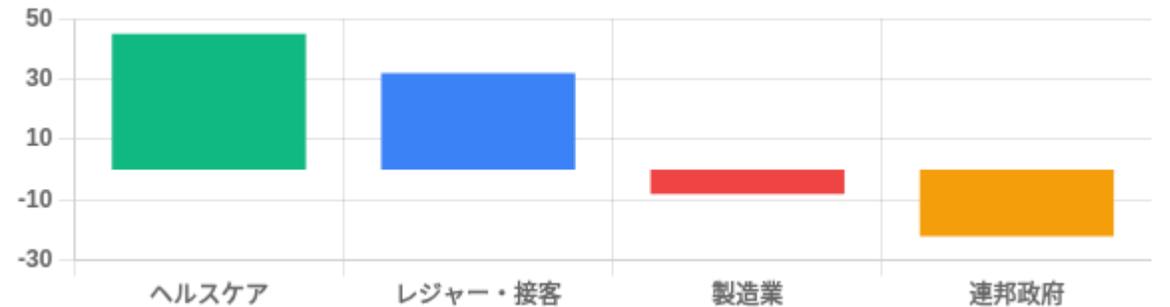
予想: +3.7%

月次: +0.4%

🔍 主要な分析ポイント

- ✅ 市場予想をやや上回る結果
- ⚠️ 前月から雇用増加ペースは減速
- ↑ 賃金上昇は予想を上回る
- 🏢 連邦政府職員は2.2万人減

📊 業種別の動向



市場への影響

景気減速への強い警戒感がひとまず和らく結果



米国株反発

景気懸念緩和



円安進行

1ドル=144円台



債券利回り上昇

利下げ期待後退



米雇用統計と日本株投資戦略

どの銘柄を買うべきか?

 **雇用者数 +13.9万人増**
 (予想13.0万人を上回る)


米国経済不安定
 ISM製造業, 非製造業


関税政策リスク
 輸出企業に懸念


内需株に注目
 安定成長期待

推奨投資セクター


輸出関連株 様子見
 慎重に観察

<p>トヨタ (7203) 関税リスク要注意</p>	<p>キーエンス (6861) 米中摩擦影響</p>
---------------------------------------	---------------------------------------


内需関連株 買い推奨
 ★★★ 強気推奨

<p>イオン (8267) 小売・安定成長</p>	<p>三菱地所 (8802) 不動産・内需安定</p>
--------------------------------------	--

 **投資のポイント**
 関税リスクを避けて内需安定株を選択



投資家心理の劇的変化(スマイルカーブの変化)

恐怖から安心への転換(プット・コールスキューの変化)

⇄ 恐怖 → 安心への大転換
日経平均先物 +620円 (+1.66%) 上昇

🕒 発表前(19:00)

恐怖状態

市場の不安度
(VIX・IV)

高い

日経先物価格

37,400円

🕒 発表後(23:00)

安心状態

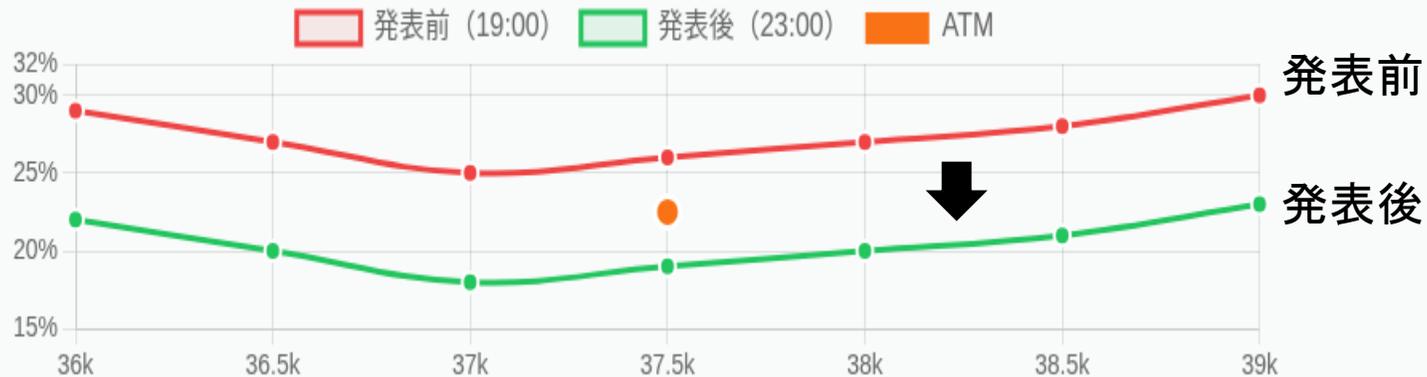
市場の不安度
(VIX・IV)

低い

日経先物価格

38,020円

📈 日経オプション スマイルカーブの変化



横軸: 日経先物価格 (円) / 縦軸: インプライドボラティリティ (%)

↓ ATM IV変化

発表前: 26-27%

発表後: 19-20%

-7ポイント圧縮

💡 実際の例: 6月6日の投資家心理変化(IV変化)

🕒 投資家心理の劇的変化

発表前(19:00)

市場の不安度(IV): **25-27%**
投資家が非常に不安

発表後(23:00)

市場の不安度(IV): **17-18%**
投資家が安心に転換

📍 推奨行動と理由

利確タイミング

みんなが安心→株価上昇済み→高値掴みリスク

警戒モード

楽観的すぎる=危険な状態

次の買い場待ち

不安度上昇時(IV 25%以上)=割安機会

🔥 逆張り投資の原理: みんなが安心している時こそ注意

不安時=買い場、楽観時=利確タイミング

オプションデータから見ると利確の時期が近い。

- ・ 市場の不安度(IV)が高い時にエントリー
- ・ 市場の不安度(IV)が低い時に利確する

次回は 6/21 21:00-予定

